

## News Release

2016年10月4日

— 8K(スーパーハイビジョン)放送<sup>※1</sup>に対応 —  
「高度広帯域衛星デジタル放送受信機」が  
「CEATEC AWARD 2016 総務大臣賞」を受賞

2016年10月7日(金)まで開催中の「CEATEC JAPAN 2016」において、当社が出展している8K(スーパーハイビジョン)放送<sup>※1</sup>対応の「高度広帯域衛星デジタル放送受信機」が「CEATEC AWARD 2016 総務大臣賞」を受賞しました。

「CEATEC AWARD 2016」は、開催テーマである『つながる社会、共創する未来～CPS/IoT Exhibition』のもと、「CEATEC JAPAN 2016 審査委員会」が、応募があった出展品の中から学術的・技術的観点、将来性や市場性などの視点から、イノベーション性が高く優れている技術・製品などを表彰するものです。なかでも「総務大臣賞」は、多様なIoTサービスを創出する情報通信ネットワークの基盤技術や、より高度な利活用システムなど、新たな価値創造に資するネットワーク製品や技術、システム、サービスなどに授与されるもので、「経済産業大臣賞」と並び最高位の賞として位置づけられています。

今回受賞した受信機は、本年8月から開始された8K(スーパーハイビジョン)試験放送に世界で初めて<sup>※2</sup>対応する専用機として開発しました。当社製の8K映像モニター<LV-85001>と接続すれば、フルハイビジョン画質の16倍の解像度を持つ3,300万画素の超高精細映像を表示することが可能です<sup>※3</sup>。また、同時に複数の番組を放送する4K放送のマルチ編成放送を受信<sup>※3</sup>できるほか、8K放送の特長である三次元音響の22.2ch音声出力<sup>※4</sup>にも対応しています。

当社は今後も、2018年に予定されている8K実用放送の開始に向けて、8K・次世代放送関連機器の開発に取り組んで参ります。

## ■ 受賞内容

&lt;総務大臣賞&gt;

「高度広帯域衛星デジタル放送受信機」

- ※1 高度広帯域衛星デジタル放送(8K/4K試験放送)のみの受信が可能です。
- ※2 2016年10月4日現在。(当社調べ)
- ※3 当受信機はBS17chで放送される試験放送のみ視聴可能です。
- ※4 22.2chを楽しむためには、別途AVアンプやスピーカーの設置が必要です。

「高度広帯域衛星デジタル放送受信機」は、「CEATEC JAPAN 2016」(場所：幕張メッセ、開催日：10月4日(火)～10月7日(金))のシャープブースに出展しています。



シャープ 高度広帯域衛星デジタル放送受信機